

ドイツ連邦食料・農業省 最新農林漁業情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 35  
2018・3・16

1 ユリア クレックナーが新しい連邦食料・農業大臣に就任 (2018・3・14)

ラインラント プファルツ州出身のユリア クレックナー (Julia Klöckner) が、今日ベルリンで連邦大統領フランク ヴァルター シュタインマイヤー (Frank-Walter Steinmeier) から、新しい連邦食料・農業大臣に任命された。彼女は就任に際して語った：連邦食料・農業大臣の公職を引き受けることについて、私は喜んでいる。連邦農業省は生命省である。ここには人間の生活一日常的なテーマ、つまり食べる、飲む、自然と創造、家畜の福祉と国民への食料供給といったテーマが存在する。

我々のテーマは、どれにも当てはまる。私は健康上の消費者保護、良質な食料と食品の価値評価そして生産者がそれに専念できること、家畜の福祉と近代的農業そして緑の職業の将来にこだわる。社会的要請の多い挑戦は、ヨーロッパ共通農業政策の発展、つまり市場対応能力のある持続的農業、非官僚主義とより高い効率性である。私にとって重要なことは、ドイツで広範に営まれている家族農業を支援することである。

クレックナーは、ワイン醸造農家の出身である。彼女は既に 2009 年から 2011 年まで、連邦食料・農業省の政務次官であった。彼女は 2002 年から 2011 年まで連邦議会議員として、また 45 歳の政治学者、宗教学者、教育学者として活動してきた。連邦議会では、農業委員会のメンバーであった。彼女は 2012 年にラインラントプファルツ州議会の議員団長を務めた。また、クレックナーは、専門教育を受けたジャーナリストであり、ワイン雑誌の編集長としても活動した。

連邦食料・農業省の政務次官は、連邦議会議員ミヒアエル シュチューブゲン (Michael Stübgen) 連邦議会議員 ハンスーヨアヒム フーヒテル (Hans-Joachim Fuchtel) 省次官は Dr. オンコウ エイケンス (Dr. Onko Aeikens) である。

## 2 酪農業界近代化のために代表との対話（2018・3・12）

今日、木曜日に連邦大臣シュミットは、酪農業界の代表を迎えた。中心テーマは、特に分野別対話の継続と未加工牛乳一供給条件の近代化であった。シュミットは会議の後説明した：“牛乳生産は特に草地管理全体の観点で、ドイツ農業のために重要である。酪農政策において市場指向のコースが、継続されねばならない。

我々は提供する。我々は原乳供給条件改正のため、そして専門団体の教育に適した法の大枠を有している。この部門は、最終的に供給である。これは次の牛乳危機の前に、実施されねばならない。我々は、フェアなリスク配分を必要とする。同時に我々の酪農家の肩に、市場リスク全体を負わせてはならない。

会議には次の各団体の代表者が参加した。

- 社団法人 ライファイゼン連盟
- 社団法人 ドイツ連邦民間酪農業連盟
- 登録無限責任会社 ホッホバルト牛乳
- 有限会社 ARLA ドイツ食料
- ドイツ牛乳流通センター

## 3 連邦食料・農業省が動物保護研究賞を公募している（2018・3・9）

実験動物の代替方法研究のための賞金が、25 000 ユーロ（約 325 万円）準備されている。連邦食料・農業省は、毎年動物実験を制限または長期的に他の方法に代替えすることが、可能となることを通じて、研究活動を表彰している。1980 年以來のこの賞は最初に連邦健康省によって、2001 年からは連邦食料・農業省によって 25 000 ユーロ授与されている。

動物保護研究賞の授与に関する公募期間は、2018 年 5 月 31 日までである。

応募者は普及可能な研究の公表または、この 2 年間に公表した科学研究について、資料（構想も含む）を連邦食料・農業省の 321 課に提出すること。2017 年の賞授与に際して、連邦大臣シュミットが説明した：実験動物の代替手法の領域における技術的な継続発展は、まず第一に動物実験に投入されるべきである。

国際的な科学共同体と経済の全分野において、これがテーマとして取り上げられている。この意味において我々は、多くの応募を期待している。

2018・3・15 訳  
青森中央学院大学  
中川 一徹